【雷門】（東京都台東区）

浅草寺の総門で、正式名称は「風雷神門」。浅草のシンボルでもある大きな提灯は、高さ3.9m、直径3.3mで、重さは約700kg。門はこれまでに幾度となく焼失と再建を繰り返しており、現在のものは1960年に松下電器産業（現・パナソニック）社長の松下幸之助氏の寄進により建てられたものである。

TOKYOシャイン

https://www.tokyoshigoto.jp

東京しごとセンター

vol. 15

●発　　行　公益財団法人東京しごと財団／東京しごとセンター・ヤングコーナー
●企画制作　パーソルテンプスタッフ株式会社
●印　　刷　タナカ印刷株式会社
●発行年月日　平成30年12月21日

輝ける仕事はここにある！

TOKYOシャイン



チームワークを大切にしている企業特集

vol. 15

東京にはたくさんの企業があります。
その多くが日本の産業を支える**中小企業**で、一社一社にそれぞれの魅力があります。
しかし、**求職者**がそれらの企業について詳しく知ることはなかなか難しいのが現状です。

「TOKYOシャイン」は、20代・30代の若手求職者に
もっと**中小企業の魅力**を知ってもらうことを目的に創刊されました。
毎号、**様々な切り口**で、中小企業を紹介していこうと考えています。
今号では、**「チームワークを大切にしている企業」**を**10社**取り上げ、その魅力に迫りました。

あなたが知らない**素晴らしい会社**が、東京にはまだまだたくさんあります。
ぜひ、あなたにぴったりの一社を見つける**手がかり**にしてください。









キラリと光る中小企業が東京にはたくさんあるんだ!



04 10人の若手社員に質問！中小企業で働く魅力って、何ですか？
06 高い燃焼技術を持つガスバーナーの専門会社
タカミツ工業株式会社（製造）
08 企画から販売まで一貫して手がけるジュエリーブランド
株式会社 ボンテヴェキオ ホッタ（小売）
10 ニッチ領域に強みを持つITサポート・サービス会社
ロジネットサービス株式会社（情報通信）
12 建築技術者を育成し、建設業界のあらゆるニーズに応える
株式会社 コンテック（建設）
14 おもてなしの心で「VIP送迎サービス」を行うタクシー会社
株式会社 シティキャブ（サービス）
16 交流できる自習室「勉強カフェ」を全国で運営
株式会社ブックマークス（サービス）
18 技術力と連携体制で地域住民のライフラインを支える
東京ガスライフバル北株式会社（小売）
20 色々な分野にチャレンジし続けるテレビ番組制作会社
株式会社スリーリングス（出版・マスコミ）
22 未経験から「専門家」を目指せるITサービス企業
株式会社フェイス（情報通信）
24 プロが満足する映像・音響・放送機材をレンタル
株式会社スパイスラボ（サービス）
26 お父さん、教えて！
『チームワークを大切にする会社は、どう見つける？』

「東京しごとセンター」とは？

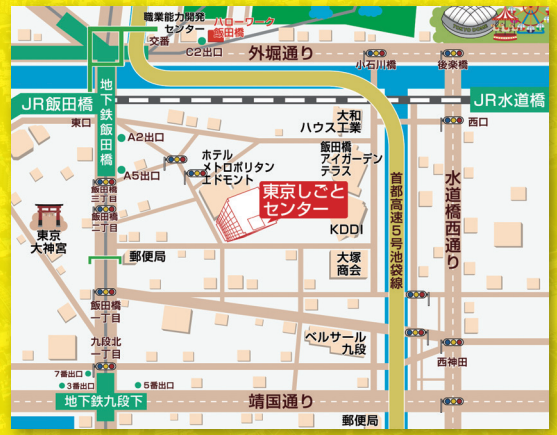


一人ひとりの適性や状況を踏まえたきめ細かな就業相談（キャリアカウンセリング）から、就職活動や就職後に役立つ知識・スキルを習得するための各種セミナーや能力開発、求人情報の提供・職業紹介まで、就職に関する一貫したサービスを提供しています。対象は、若年者から高年齢者まですべての年齢層の求職者です。なお、29歳以下を対象にした「ヤングコーナー」は施設3階にあります。『ハローワーク飯田橋U-35』が併設されているので、パソコンでの求人情報検索や、就職相談・職業紹介などのサービスを施設内でご利用いただけます。
※一部、30～34歳以下の方もご利用いただけるサービスもございます。

【業務時間】
《平日》午前9時～午後8時
《土曜》午前9時～午後5時
※日曜・祝日および年末年始（12/29～1/3）はお休みです

【所在地】
東京都千代田区飯田橋3丁目10番3号
TEL 03-5211-1571

【URL】
https://www.tokyoshigoto.jp



10人の若手社員に質問！

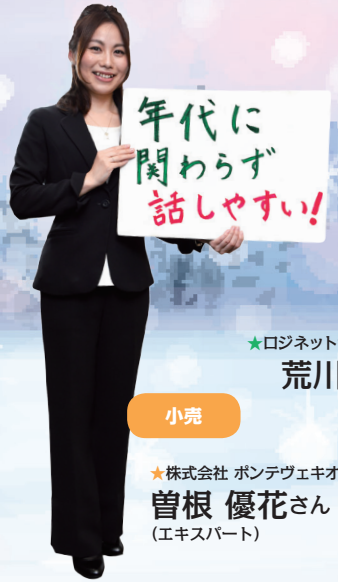
中小企業で働く魅力って、何ですか？

第一線で活躍中の10人の皆さんに、「あなたが考える中小企業で働く魅力」を伺いました。ご覧の通り、答えはみんなバラバラ。10人いれば10通りの答えがあるように、中小企業の魅力は一言では語り尽くせません。ここで登場してくれた先輩たちは、このあとの企業紹介ページでもインタビューに答えてくれています。先輩たちが生き生きと働く様子を、ぜひチェックしてみてください。



製造

★タカミツ工業株式会社
越田 有貴さん
（事務）



小売

★ロジネットサービス株式会社
荒川 将吾さん
（営業）



情報通信

★株式会社 ポンテヴェキオ ホッタ
曽根 優花さん
（エキスパート）



建設

★株式会社コンテック
牧野 幹久さん
（建設技術者）



サービス

★株式会社シティキャス
鈴木 翔太さん
（営業）



サービス

★株式会社フックマークス
吉澤 みずきさん
（アシスタントマネジャー）



小売

★東京ガスライフバル北株式会社
小野 文香さん
（営業）



出版・マスコミ

★株式会社スリーリングス
青野 竜也さん
（ディレクター）



情報通信

★株式会社フェイス
黒須 洋次さん
（システムエンジニア）



サービス

★株式会社スパイスラボ
山口 綾子さん
（提案型ルート営業）



製造
《事務》

高い燃焼技術を持つガスバーナーの専門会社



タカミツ工業 株式会社

http://www.tack.jp

海外に広がる日本の技術！誇らしいね



火葬用バーナーの特許を所有

工業用ガスバーナーの設計、製造、販売を行うタカミツ工業株式会社。工業炉や環境にやさしいコージェネレーションシステム設備など、燃焼技術のプロフェッショナルとして50年以上の歴史を持っている。創業間もない頃から東京ガス株式会社のガスバーナー開発に参画。その確かな技術力が認められて、現在に至るまで長年取り引きが続いている。2010年には、排気ガスを有効利用した、環境にやさしい設備の開発にも関わったという。

「1995年には、火葬用バーナーの開発にも成功しています。これは当社の独自技術であり、特許も取得しています」（代表取締役・高橋繁氏）

この火葬用バーナーは、東京23区内にある6カ所すべての斎場のほか、全国各地で300台以上が採用されている。お隣の韓国でも100台以上採用されるなど、すでに海外進出も果たしているのだ。

「火葬用バーナーだけでなく、ガスバーナーや工業炉なども、タイをはじめ海外で稼働しているものがあります。そのメンテナンスのために海外出張する社員もいます」（高橋氏）

日本企業による生産拠点の海外移転に伴い、将来的には東南アジアへの進出も考えているという。

⬇社内の様子（本社）



⬇商品



⬇本社のエントランス



社員の主体性を大切にしてくれる

「人を支える仕事が向いている」と考え事務職を希望していた越田有貴さん。

「父親がエネルギー系の仕事をしていたので、当社の事業が身近に感じられたんです」（越田さん）

入社後、研修も兼ねて3カ月間営業事務を経験した後、現在は業務部へ異動。それに伴って、仕事の幅がかなり広がったという。

「原価管理システムへの入力業務や伝票の整理・作成、請求業務のほか、社内の備品管理から社員のサポートまで、できることがたくさんあります。社員の皆さんを支えているという実感が、少しずつわいてきています」（越田さん）

業務については、自分から希望して増やしてきた側面が強い。

「社長も、『やりたいと思ったことはどんどん発言して』と言ってくれるので、手を挙げやすいんです。営業が使うプレゼン資料のレイアウト作成も、希望してやらせてもらえるようになりました」（越田さん）

社員の主体性を大切にする同社だけに、「一緒に働くなら、明るく好奇心旺盛でチャレンジできる人がいいです」と話してくれた。

Corporate DATA

【創業・設立】
創業・1966年5月
設立・1969年1月

【資本金】
5,000万円

【所在地】
◎本社
東京都大田区
大森北4-15-27

【事業内容】
工業用ガスバーナー製造・販売、ガス燃焼設備・装置設計・施工・メンテナンスなど

【従業員数】
20名
（2018年10月末時点）
※執務室はワンフロアで、部門の垣根がない職場。みんなが何をしているのか分かり、交流も盛んです。

★経営陣に聞く★



代表取締役
高橋 繁氏

少数精鋭だからこそ、チームワークを重要視

社員が能力を出せる環境づくりが、社長である私の仕事。そのためにはチームワークがとても重要で、コミュニケーションがとれる機会を創出することに力を入れています。たとえば、10時と15時にいったん仕事の手を止めておしゃべりできる「モグモグタイム」をつくったり、役職関係なく「さん付け」で呼び合ったり。社員旅行は毎年必ず行きますし、季節ごとに親睦会も開いています。少数精鋭体制だからこそ、皆が協力し合えるよう気を配っています。

企画から販売まで一貫して手がけるジュエリーブランド



株式会社 ポンテヴェキオ ホッタ

https://www.pontevecchio.jp

お店のホームページもキラキラでカワイイ♡



「毎日をカラフルに」を掲げて30年以上

イタリアンジュエリーを日本に紹介すべく会社を創立。1987年に株式会社 ポンテヴェキオ ホッタの社名となり、店名を「Ponte Vecchio」に改名した。以来30年以上にわたり「毎日をカラフルに」をスローガンに掲げ、多くの女性を魅了するジュエリーを提供してきた。

「かつての日本では、ジュエリーといえばクラシカルなスタイルが多く、冠婚葬祭で着けるものくらいのイメージでした。当社は、増えつつあった働く女性の多くに支持され、毎日着けられ、日々の生活を彩るものを提供してまいりました」

そう語るのは、社長の堀田幸夫氏。国内の競合他社に比べ高単価で品質も高い商品を扱うことで差別化を図り、現在は東京・銀座の本店を含む国内22店舗、海外4店舗を展開するブランドにまで成長させた。

「日本発のブランドとして、今後も海外進出を図るなど、さらなる成長を目指していきます」（堀田氏）

⬇仕事中の一コマ



⬇店舗内観



⬇商品



お客様の人生の大事な時間を共有

銀座並木通り本店で働く曽根優花さんは、新卒入社4年目。現在はエキスパート職として、接客のほか店長の補佐も務める立場。元々ファッションに興味があり、世代を超えて長く使ってもらえるジュエリーを扱いたいと就職を決めた。

「お客様と直接やり取りできることが一番楽しいですね。特にジュエリーは、結婚をはじめさまざまな記念日など、重要なライフイベントで買われるもの。そんな大事な時をお客様と共有できるのが一番のやりがいです」と語る曽根さん。リピーターを増やすには、大変さも感じるという。

「既存のお客様には折に触れてお手紙を書いたり、日々ふらっと店舗に寄っていただけるような雰囲気作りをしたりと、工夫しています」

そんな曽根さんの趣味は旅行。同社では、通常の休みに加え、最長で9日間の長期休暇が年2回取得できるため、活用する社員も多いという。

「先日も台湾に行ってグルメを堪能してきました。旅行に行くことはお客様との会話のネタにもなりますし、現地で色々な発見もあるので、自分磨きにつながります」（曽根さん）

今後も長く、同社で働き続けたいと考えている。

「女性にとって働きやすい会社なので、ずっと続けたいです。先輩たちのように、今後は私も『曽根さんから買いたい』と言われるような存在になりたいですね」（曽根さん）

Corporate DATA

【創業・設立】
創業・1981年4月
設立・1981年4月

【資本金】
1億円

【所在地】
◎本社
東京都港区
三田1-1-15
三田ソネットビル5F

【事業内容】
宝飾品専門店チェーンの経営、ならびにこれに付帯する企画、製造、輸入業

【従業員数】
166名
（2018年11月末時点）
従業員の95％は女性が占めています。平均年齢38歳。平均勤続年数9年と長く在籍する社員が多いですが、新卒採用にも近年力を入れており、若い世代の社員も活躍しています。

★経営陣に聞く★

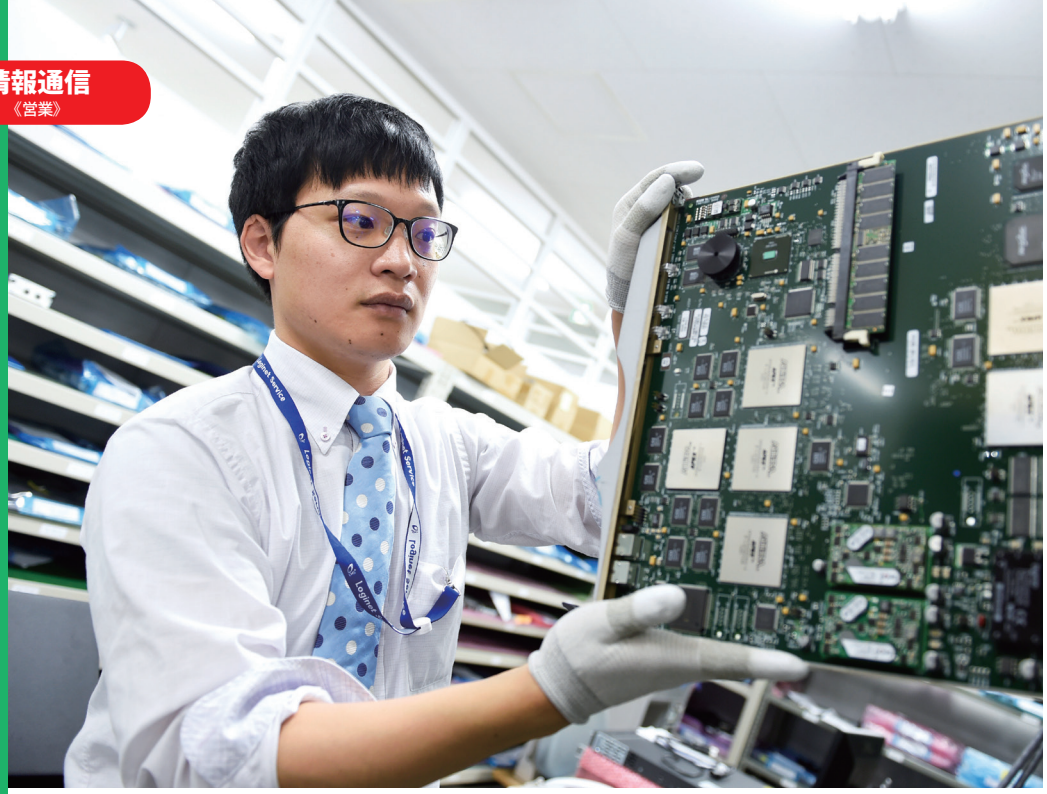


社長
堀田 幸夫氏

チームワークこそ「店舗」の原動力です

「毎日をカラフルに」がテーマの当社では、ジュエリーをお勧めする側の社員も「カラフル」であるべきだと考えています。社員全員がワーク・ライフ・バランスのよい環境で自分を磨き続けられるようにするのが、私の務めです。もうひとつ、皆に求めているのがチームワーク。店舗単位での仕事が多い当社。土・日も関係なく店舗は営業しています。店舗内のチームワークの善し悪しは、営業成績にも、働きやすさにも直結するのです。

ニッチ領域に強みを持つITサポート・サービス会社



ロジネットサービス 株式会社

http://www.loginet.co.jp

たくさんの若手社員が活躍しているね！



保守期間が切れた部品の修理にも対応

ITのインフラ領域、サーバ・ネットワーク・ストレージのシステム構築や運用・保守など、コンピューターのサポート・サービス全般を行っているロジネットサービス株式会社。

「それだけでなく、ニッチな領域にも強みを持っています。例えば、メーカーの保守期限が切れて部品供給が停止したものの修理・点検にも幅広く対応しています。世界中から部品を買い集め、検査して保守部品として利用するのです。この領域では、他社の追随を許しません」

そのように語るのは、代表取締役の新津謙介氏。現在はICT（情報通信技術）をはじめ、工場などの産業システム、ケーブルテレビ局などにも対応の幅を広げている。

「新システムに入れ替える予定があるのに、既存のものが壊れ、当座直さなければならないこともあります。そうした緊急の場合などにも重宝されています」（新津氏）

同社の延長保守サービスは、ここ10年で急激に需要が高まったといい、大手企業からの引き合いも多い。

「近い将来、サポート・サービスといえばロジネットサービス、と言われるよう、対応領域を広げていくつもりです。数年前から世代交代・若返りを図っていますから、誰しもがチャンスを掴めるでしょう」（新津氏）

⬇仕事中の一コマ



⬇技術センターの様子



⬇本社外環



中小企業だからこそ社長との距離が近い

同社の新卒第一期生として入社し、現在8年目を迎えた荒川将吾さん。CATV局の営業と保守を担当している。同時に、2名の部下を預かるグループリーダーでもある。

「お客様から依頼を受け、見積りから納品まで一連の仕事を担当します。障害発生時の保守対応も含め、営業とエンジニアの中間のような仕事ですね。エンドユーザーと直接やりとりするので、問題が解決した時には目の前で喜んでいただけるのがやりがいです」（荒川さん）

加えて、メーカー保守が受けられないような故障の対応の仕事も、他ではできない面白さがあるという。

「メーカーの対応終了後は、自力で調べ、解決するしかありません。新しい情報や保守の方法を発見し、解決に導いた時は大きな充実感を覚えます」（荒川さん）

加えて、会社の規模が小さいこともやりがいの一部だと語る。

「社長と距離が近く、直にやりとりできるのがいいですね。提案しやすく、判断のスピードも速い。中小企業ならではの良さですね」（荒川さん）

Corporate DATA

【創業・設立】
創業・1996年9月
設立・1996年9月

【資本金】
2,000万円

【所在地】
◎本社
東京都江東区
冬木11-17
イシマビル13F

【事業内容】
コンピューターサポートサービス全般

【従業員数】
35名
（2018年11月末時点）
※社員の平均年齢は32歳。8年前に新卒採用を開始して以来、20代の割合が増えています。女性比率は約2割ですが、エンジニアや係長クラスなどでも活躍中。文系・理系問わず、色々な学部の出身者がいます。

★経営陣に聞く★



代表取締役
新津 謙介氏

チームワークを良くし、社員が輝ける会社に

会社規模が小さいため、お客様の要望に応えるには、一人ひとりができることの幅を広げ、お互いカバーし合うことが大切です。仕事上、客先常駐の社員もいることから、月1回は必ず会社に集まって、ミーティングの後は皆で交流できる時間をとっています。普段話さない人ともコミュニケーションが取れ、相互理解にも繋がっているようです。若手が輝ける会社でありたいと考えていますので、会社としてのチームワークを良くしていきたいですね。

建築技術者を育成し、建設業界のあらゆるニーズに応える



株式会社コンテック

https://www.con-tec.co.jp

しっかりした研修で
未経験でも自信がつくね



未経験でもしっかり育てる

「新しい建設業を切り拓く」ため、2005年に誕生した株式会社コンテック。施工管理者や設計者、CADオペレーターなどの専門技術者を養成して派遣する技術者派遣事業を主軸に、自社で設計や建築工事も請け負い、人材不足に悩む建設業界の多様なニーズに応えている。

「入社後は、富士山の麓にある富士教育訓練センターで２カ月間、社内研修で１カ月間、合計3カ月間にわたって、建築技術の基礎をしっかりと学んでもらいます。その後は大手建設会社の現場へ施工管理者として携わることに。大小様々な現場を早い段階から経験できるので、建設技術者として大きく成長できる環境があります」（代表取締役社長・宮地俊斉氏）

スキルを磨いた後、社内の設計部門や建築工事部門で活躍する道もある。

⬇仕事中の一コマ



⬇富士の研修



⬇本社のエントランス



また、グループ会社との人材交流を通じて、施主のサポートや建物の運用管理業務などに携わるチャンスも。キャリアパスという意味でも多彩な道が用意されているのだ。

「大切な社員が長く建設業界で活躍できるよう、真剣に育てます。だから、やる気と素直さがあれば、未経験でも大丈夫ですよ」（宮地氏）

良い仕事には段取りが大切

2017年７月に入社した牧野幹久さん。研修後は、１年目から病院の手術室やクリーンルームなどの建設工事現場で施工管理者として活躍中だ。

「学校で設計については学びましたが、学校の勉強と実務は違うと考え、教育体制のしっかりした会社を探してコンテックに出会いました」（牧野さん）

医療系建築物は規制や専門用語が非常に多いため、現場に出てからも覚えることが山積みだ。しかし、「知らなかった知識を吸収できることが面白い」と牧野さんは前向きだ。

「知識が増えるほど、的確な判断ができるようになり、自分の成長を実感できて楽しいんです」

建築物は、鳶や内装工など様々な職人の方が連携しながらつくり上げていくため、チームワークの醸成についても勉強中だという。

「工事内容によって担当する職人さんが違うため、無駄な時間が発生しないよう段取りに気を遣っています。職人さんに良い仕事をしていただくために、気持ち良く作業に集中してもらいたいですからね」（牧野さん）

次の現場では一人で施工管理者を務めるという牧野さんは、着実に成長の階段を上っている。

★経営陣に聞く★



代表取締役社長
宮地 俊斉氏

結びつきの強い社員たちがチームワークを発揮

良い建築物は、多くの職人さんの連携・協力なしにはつくれないため、施工管理者は職人さん同士をつないで、持てる力を発揮してもらえる環境を整えなければなりません。それには、職人さんの仕事を知っていることも大切。そこで、富士教育訓練センターでは、足場組立や墨出しといった作業を体験します。また、同期と同じ釜の飯を食べることで、社員同士の結びつきも強いものに。ここから生まれるチームワークが当社の強みにもなっています。

Corporate DATA

【創業・設立】
創業・2005年６月
設立・2005年６月

【資本金】
3,000万円

【所在地】
◎本社
東京都港区
芝5-33-1
森永プラザビル
本館12F

【事業内容】
建築技術者派遣、建築設計、建築工事

【従業員数】
216名
（2018年12月１日時点）
※平均年齢は約30歳。社内イベントが多く、仕事以外でも社員同士の交流が盛んです。

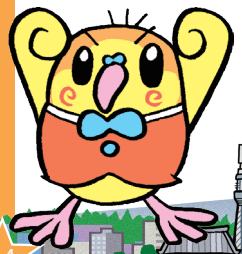
おもてなしの心で「VIP送迎サービス」を行うタクシー会社



株式会社シティキャブ

http://citycab-taxi.com

おもてなしの心で
今日も日本の町を走るよ！



国内外のVIPをも送迎する会社に成長

若い人が夢と誇りを持って仕事に取り組めるタクシー会社が作りたい。そんな思いから設立された、株式会社シティキャブ。元は江戸川区を拠点とする「街のタクシー会社」だったが、5年ほど前からVIPの送迎などに使われるハイヤー事業を開始、さらに2年ほど前からは外国人向けの送迎サービスに注力している。

「在外公館や公的機関、企業等の依頼を受けて、VIPや富裕層を中心とした観光客の送迎を行っています。安全で、おもてなしの心がこもった送迎サービスを提供することで、他社との差別化を図っています」

このように語るのは、創業者で代表取締役社長の鈴木雅美氏。外国人も含め、外国語を話せるドライバー、内勤スタッフを抱え、ヨーロッパ・中国をはじめ世界各国からのゲストに利用されている。

「それこそ、プライベートジェットで来日するような方もいますよ。海外向けの事業は、2020年のオリンピックを契機として観光立国を目指す日本の方針にもマッチしていますし、さらなる発展を目指します」（鈴木氏）

社内の雰囲気はフランクで、経営層とも気軽に話ができる。内勤スタッフで交わされるコミュニケーションは、日本語と英語が半々と、外資系のような雰囲気もある。

「おかげさまで業績も順調に伸びています。従業員の働く満足度アップにも積極的に取り組んでいます」（鈴木氏）


⬇仕事中の一コマ


⬇同僚社員


⬇社内の様子（本社）

多国籍なメンバーが世界を相手に活躍中

海外営業部で、営業から受注、運行終了までを一括して管理する鈴木翔太さん。高校卒業後、語学留学を経て、シティキャブで海外向け事業が始まるのに合わせて入社した。

「当社は中小企業ですが、海外とのやり取りがとても多いんです。営業部も少人数で、私でも海外の企業トップと話せる機会がたくさんあります。英語力を活かしたいとか、外国と関係する仕事がしたい方にはもってこいの環境です」（鈴木さん）

同じく営業部に在籍する、ポーランド出身のアグネスさんは、高校時代から村上春樹など日本文学に興味を持ち、大学で日本文学を専攻。修士課程修了後、日本のIT系会社を経て、シティキャブに入社した。

「お互いに助け合いながら仕事をする雰囲気で、皆友達になれて毎日が楽しいです。若手の私にもサービスの価格決定など責任ある仕事を任せてもらえるので、とてもやりがいがあります」（アグネスさん）

Corporate DATA

【創業・設立】
創業・2005年6月
設立・2005年6月

【資本金】
非公開

【所在地】
◎本社
東京都江戸川区
江戸川2-2-3
金栄ビル2F

【事業内容】
一般旅客自動車運送事業、ドライバー派遣事業

【従業員数】
95名
（2018年10月末時点）
※ドライバーは全員が男性で、内勤では女性も活躍しています。社員全体の1割、内勤では3割が外国人社員。若い社員が元気に働いています。

★経営陣に聞く★



代表取締役社長
鈴木 雅美氏

多様性を許容し、チームワークでおもてなし

お客様をおもてなしするために、内勤スタッフ、ドライバー、さらには全国各地のパートナー会社と密接な協力態勢を整えています。当社では、多様な国籍の社員が共に働いています。「多様性を許容し、相互尊重を大切にする」ことは、常に社員にも強調しています。出身も背景もさまざまなスタッフが集まって、グローバルなチームワークを発揮して活躍するという職場環境に魅力を感じた方は、ぜひチャレンジしてください。

サービス
《アシスタントマネジャー》

交流できる自習室「勉強カフェ」を全国で運営



株式会社ブックマークス

https://bookmarks.co.jp

私も何か資格の勉強始めようかしら？



コミュニケーションを通じて学べる場所

株式会社ブックマークスは、会員制有料自習室「勉強カフェ」を運営している。資格取得を目指す社会人を中心に利用者が増加中。現在、首都圏を中心に全国で24店舗を展開している。代表取締役の山村宙史氏は、10年前の設立の経緯を次のように語る。

「私自身が転職を機に資格取得の勉強を始めたのですが、大人が集中して勉強できる場所がないと実感しました。元々は飲食店の店長をしていたこともあり、新たなサービスのニーズがあるのではないかと思ったのです」（山村氏）

「勉強カフェ」は場所貸しやカフェではなく、学びながら同じ目的を持った人同士の交流ができる場所を目指している。スタッフは見知らぬユーザー間の橋渡し役となる存在だ。

「受付業務をするだけでなく、会員様と会話してコミュニケーションを取り、交流イベントの企画もします。スタッフの働きかけで、同じ目的を持った人同士が情報交換して、励ましあい、共に成長できるコミュニティを形成していきます」（山村氏）

このような業態の自習室は他にはないと山村氏は語る。

「店舗スタッフは会員様と伴走するパートナーです。そっと背中を押してあげるのがその役目。人と話すことが好きな方に向いた仕事です」（山村氏）

会員の伴走者として頑張る姿を応援

入社後は接客等の研修を経て店舗に配属。コミュニティマネジャー候補としてキャリアをスタートさせ、経験を積んでいく。入社1年目の吉澤みずきさんは、学生時代から同社でアルバイトをし、新卒入社した。

「会員様が勉強しやすいように環境を整備し、会員様同士がつながりを持てるよう、イベントの企画・開催をお手伝いしています」（吉澤さん）

勉強カフェに興味を持った人への見学対応、アルバイトの教育、マネジャーのサポートも行うが、仕事の中心は会員と接点を持つことだ。

「会員様同士の交流を図れるようにご紹介をする前に、まず私たちスタッフが会員様と言葉を交わし良い関係を作ることを目指します」（吉澤さん）

日々の挨拶はもちろん、勉強の内容や息抜きに何をしているのかなどを、積極的に会話しているという。

「会員様は目標を持って勉強カフェを利用されています。日々頑張っている姿を見ると自分にも刺激になるんです。目標を達成されて次のステップに進む姿を応援できるのが、何よりのやりがいです」（吉澤さん）

⬇店内の様子



⬇勉強風景



⬇社内イベントの様子



Corporate DATA

【創業・設立】
創業・2008年8月
設立・2008年8月

【資本金】
1,800万円

【所在地】
◎本社
東京都渋谷区
恵比寿1-23-21
ヤマトハイツ803

【事業内容】
「勉強カフェ」の運営（直営店、FC店、ライセンス店を合わせて全国24店舗）

【従業員数】
37名
（2018年11月末時点）
※コミュニティマネジャーの平均年齢は20代後半。社員の男女比は半々で、中途入社が大半を占めています。社員同士の交流が活発で、合宿などのイベントも多数あります。

★経営陣に聞く★



代表取締役
山村 宙史氏

社員同士がお互いを理解できる環境・イベントを用意

「アニバーサリー・セレブレーション」という社内イベントがあります。本人が喜ぶサプライズを皆で考えて、社員の入社日をお祝いするのです。過去には、海外に行ったことがない社員に架空の海外出張を仕掛けて、台湾旅行をプレゼントしたことも。相手に喜んでもらうには、社員同士でお互いを理解していなければできません。力を合わせて働くだけでなく、普段から同僚のことを気にかけておくのも、大事なチームワークの一つだと思います。

技術力と連携体制で地域住民のライフラインを支える



東京ガスライフバル北株式会社

http://www.tglv-kita.com

地域の頼れるパートナーなんだね



技術、資格を活かし住民に豊かな生活を

東京ガスから事業を受託していた3社が合併し設立した東京ガスライフバル北株式会社。前身の会社ではガス機器販売事業が中心だったが、現在はガスの検針や開閉栓、住宅設備機器の販売、施工、修理などを行っている。

「みなさんがイメージしやすいのは、引っ越しの際のガス栓の開閉栓業務や、検針業務といったものではないでしょうか」と語るのは、常務取締役の市川高一氏。

「4年に一度のガス漏れ検査のほか、住宅の増改築などリフォームの設計や施工、さらには電力の自由化により電気の販売事業も開始するなど、事業は幅広いです」(市川氏)

ガス設備の定期保安点検をはじめ、業務には色々な資格が不可欠だ。また、住宅の安全度を正しく理解することも求められ、安全のプロとして警報器や消火器などの営業販売も行う。

「入社後はトレーニングセンターで約1週間の研修を行います。その後は現場で仕事を覚えながら、資格取得を目指していきます」(市川氏)

地域密着型で、高齢者世帯などの困りごとに対応しているのが同社の強み。リフォームの相談にも乗るなど、地域にとって、なくてはならない存在なのだ。



⬇同僚社員



⬇店舗の様子



⬇本社外観

連絡アプリを駆使し社員間で迅速に連携

同社の商圏である北区は、古くからの集合住宅が多く、建物や設備の老朽化が進んでいるといわれる。そのため、ガス漏れ検査などの保安点検は重要な仕事だ。小野文香さんは新卒入社で2年目。資格取得後は半年で独り立ちし、バイクで現場を回る忙しい毎日を過ごしている。

「ガスの開閉栓の業務は1日10～15件ほどです。その中で必要に応じて、お客様のお役に立つ提案をするようにしています」(小野さん)

リフォームなどの依頼があればヒアリングを行い、担当部署へ引き継いで円滑な業務を目指す。また、緊急時には、チームワークが発揮される。

「何かあった時は社内連絡アプリを活用して連絡を取り合い、現場の仕事をサポートし合うんです。先日は移動中に事故に巻き込まれてしまったのですが、すぐに代わりのメンバーを手配し、お客様のところへ駆けつけてもらいました」(小野さん)

最後に仕事のやりがいを聞いた。

「開栓後の不具合に対応した時など、作業が終わった後に『これで安心してガスが使える』と言ってもらえると嬉しいですね」(小野さん)

Corporate DATA

【創業・設立】
創業・2009年4月
設立・2009年4月

【資本金】
9,800万円

【所在地】
◎本社
東京都北区
豊島1-28-2

【事業内容】
ガス機器など住宅設備機器の販売・施工・修理、ガスの検針・開閉栓、住宅の増改築の設計・施工・メンテナンス、ガス設備・空調設備・給排水設備の設計・施工など

【従業員数】
193名
(2018年11月時点)
※新卒入社がほとんどで、一部の技術職など全体の約2割が中途入社です。20代が中心となって男女問わず活躍している、活気のある職場です。

★経営陣に聞く★



常務取締役
市川 高一氏

お客様の価値創造のためにチームワークを生かす

どんなご要望にも即座に対応するため、LINEのようなツールを導入し、緊急時にも社員間ですぐに連携を取れるよう体制を整えています。いつでもチームワークが活かせる体制であることが、私たちの強みです。普段の検針の際などに「困っていることがある」という声をお聞きすれば、他の部署の人間と連携を取りすぐに対応策を考えます。業務では50世帯ほどのマンションでユニットバス交換、リフォームなどを手掛けるケースもあるんですよ。

色々な分野にチャレンジし続けるテレビ番組制作会社



株式会社スリーリングス

http://3-rings.co.jp

わたしもテレビに出演したいな～♪



厳しい環境の中でも働く社員を大切に

「テレビ業界は働き手に厳しい環境と言われがちです。だからこそ、働く人にも優しい会社をつくりたいという思いで立ち上げました」

そう語るのは、テレビ番組制作会社である株式会社スリーリングスの取締役・太田智氏。自身もディレクターとして、これまでに多くのテレビ番組制作に関わってきた。

「平和・ご縁・輪の3つを大切にしてテレビ番組を作っていくのが当社のコンセプトで、その思いは社名にも込められています」(太田氏)

そのコンセプト通り、応募者との縁を大切にし、テレビ業界の未経験者でも積極的に採用してきた。

「入社後は基本的なビジネスマナーや番組作りの流れを約2日間の研修で習得してもらった後、先輩社員について実際の現場で少しずつ仕事を覚えていきます」(太田氏)

同社では設立当初から情報番組の制作に強みを発揮しており、現在は在京キー局の午前中の番組をメインで手掛けている。他にも色々なジャンルの番組制作を行ってきた。

「設立8年目の会社ですから、枠にとらわれず様々な分野に挑戦しています。現在は特番やBS、CSのレギュラー番組を持たせてもらっていますが、いずれは地上波でもレギュラー番組を手掛けたいですね」(太田氏)

誰が見ても伝わる映像作りを目指す

前職はアパレルブランドで販売や営業を行っていた青野竜也さん。26歳の時にスリーリングスに入社した。

「東日本大震災の時にテレビの力が大きいことを実感し、この業界に飛び込むことを決意しました」(青野さん)

同社では、入社後しばらくは情報番組のADとして経験を積んでいく。

「最初は芸能人のイベント参加ニュースのコーナーを担当していました。毎日いろいろな現場に行き、タレントさんのコメントをもらう仕事です。今はディレクターとして、映画のメイキング映像のために現場でカメラを回すなど、映画に関する色々な仕事を担当しています」(青野さん)

映画の撮影期間中は現場に張り付き、スタッフや役者の方たちと行動を共にしながら素材集めを行っていく。

「膨大な素材の中から、面白いと感じた部分を抽出して映像に仕上げていきます。例えば、先日は『映画での出来事が本当に起きたら？』といった切り口で番組を作りました。見やすく、面白く、分かりやすく絵にしていくことがディレクターの仕事なんだと、日々実感しています」(青野さん)

⬇仕事中の一コマ



⬇社内イベントの様子



⬇同僚社員



Corporate DATA

【創業・設立】
創業・2011年3月
設立・2011年3月

【資本金】
400万円

【所在地】
◎本社
東京都港区
六本木2-2-2
イトーピア六本木902

【事業内容】
地上波やBS／CS向けテレビ番組制作事業、インターネットメディア事業、CG制作事業など

【従業員数】
23名
(2018年11月時点)
※社員は未経験者が多数で、現在はディレクターとして6名が活躍中。現場の作業が多く、普段は社員同士で顔を合わせる機会は少ないですが、忘年会などのイベントでは大いに盛り上がります。

★経営陣に聞く★



取締役／プロデューサー
太田 智氏

仕事を通じて信頼関係を築き、チームワークを高める

テレビ番組は一見華やかですが、制作する我々の仕事は地味な作業が続きます。単に憧れだけではなく、地道に続ける覚悟は必要です。その覚悟がある人は、約3年から5年でディレクターを任せる方針です。仕事を進める上では、社員同士のチームワークは不可欠。ステップアップ研修やヒアリングの機会を設けることで、短期間で成長できる道を共に探します。番組作りの仕事を通じて、お互いに信頼関係を築いていくことが成長にもつながります。

未経験から「専門家」を目指せるITサービス企業



株式会社フェイス

https://www.faithin18.com

人と関わることを大切にしてるんだね



未経験者をしっかり育てる

クライアントから信頼される専門家集団として、質の高いITサービスを提供してきた株式会社フェイス。

「当社では、より人間力教育に力を入れています。ITの現場では、単に技術だけでなく、チームをまとめられる人材が求められる傾向にあります。そのために必要なビジネスマナーやチームで連携を取るために必要なスキルを、入社後に実施する独自の研修でしっかり学んでもらっています」（代表取締役社長・松岡正泰氏）

これまでもほとんどの社員がIT業界未経験で入社しているが、ITの専門家としてクライアントに信頼されるまでに育っているという。

「未経験者でも、約１カ月間の研修で必要な知識をしっかり身に付けてもらいます。技術と人間力の両方を兼ね備えた人材を育てています」（松岡氏）

⬇仕事中の一コマ



⬇社内の様子（本社）



⬇社内イベントの様子



研修はITの基礎を学ぶところから始まり、最終的にチーム単位でネットワークやインフラの構築ができるところまでを目指していく。

「3～5名のチームをつくり、試行錯誤しながらマシンを動かすことに挑戦してもらいます。研修システムを作ったのは、エンジニア教育の経験に長けた元エンジニアで、誰もが知る大手企業の新人研修を担当した実績もあるんです。これまでも多くのエンジニアに道を拓いてきたので、全くの未経験からでも自信を持って学んでほしいと思います」（松岡氏）

日々の仕事を通じ成長を実感できる

同社の事業は、データセンターの運用、監視、保守といったインフラ事業を始め、ネットワークやクラウドサービスの構築、映像関連事業のシステムサポートなどITサービス全般にわたる。入社して1年の黒須洋次さんは、飲食店などで働いた後、26歳の時に未経験で同社に転職した。

「ITに憧れがあったので、異業界から飛び込みました。研修を受けた後は、ネットワークエンジニアとして教育系クライアント様の社内ネットワークの設計構築など、色々なプロジェクトを経験しました」（黒須さん）

日々の仕事を通じてたくさんのことが学べるため、成長の機会は多い。

「これまで携わった仕事は、PCのセットアップから、海外企業と日本企業の通信網の構築など、内容も難易度も様々でした。難易度に応じて必要になる技術や言語も異なります。研修や仕事を通じて技術を習得し、次の現場での実際の仕事に生かせた時に、自分の成長を実感できるのが嬉しいです」（黒須さん）

Corporate DATA

【創業・設立】
創業・2017年6月
設立・2017年6月

【資本金】
100万円

【所在地】
◎本社
東京都中央区
日本橋人形町1-1-8
神山ビル2B

【事業内容】
コンピューターシステムやネットワークの企画・開発・販売および保守、インターネットを利用した各種情報提供サービスなど

【従業員数】
68名
（2018年11月時点）
※社員の約9割がエンジニア。8：2の割合で中途入社が多く、平均年齢は27歳です。普段は客先に常駐しますが、自社のイベントや勉強会などが多く、社員間の仲間意識が強いです。

★経営陣に聞く★



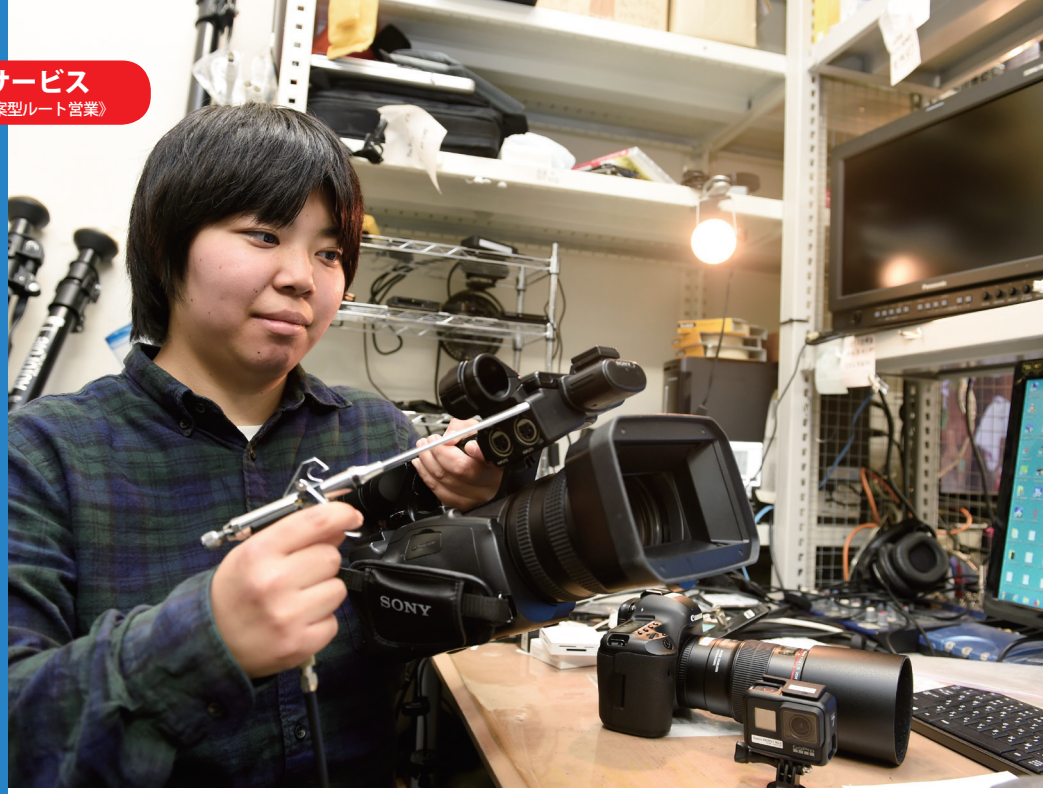
代表取締役社長
松岡 正泰氏

社員間で交流を深めながら自主性を育む社風です

研修では、全く知識のない人同士が初歩の初歩から取り組んでいきます。チームワークで励まし合い、フォローしながら取り組むので、これまで挫折した人は1人もいません。難しい課題を、力を合わせながらクリアしていくことで連帯感が生まれ、修了時にはみんなで涙するような一体感が生まれます。仕事を離れた場では、レクリエーションや勉強会などを企画する委員会もあります。交流を深めながら自主性を育むのが、当社の特徴です。

サービス
《提案型ルート営業》

プロが満足する映像・音響・放送機材をレンタル



株式会社スパイスラボ

https://spicelab.co.jp

機材一つにもいろいろ特徴があるのね！



ニーズに応じて最適な機材を選択

映像や音響のプロフェッショナルとして、ビデオカメラやスチルカメラ、レンズ、パソコン、ストレージなどの機材をレンタル・リースしている株式会社スパイスラボ。テレビ番組を中心に、CMやプロモーション映像など様々な制作会社約40社と取り引きし、2011年に事業を開始して以来、着実に業績を伸ばしてきた。

「お客様に寄り添い、当たり前のことを当たり前にする。そこをお客様に評価いただけているのだと考えています」（代表・井上雄太氏）

同社が直接やり取りするのは、AD（アシスタントディレクター）が多い。しかし、ADは必ずしも機材に精通しているわけではないため、撮影内容や求められる画質などを考慮して最適な機材をアドバイスすることも大事な仕事となる。

⬇仕事中の一コマ



⬇仕事中の一コマ



⬇社内の様子（本社）



「立場上、ADさんが上司に意見しづらそうだなと感じた時は、私たちが上司にそれとなく話をする場合も。制作現場で求められている機材の内容から人間関係まで、お客様の状況を深いところまで理解して寄り添います。そこまでするのは、お客様に良い仕事をしてほしいから。『ありがとう』と言っていただけると、嬉しいものなんです」（井上氏）

豊富な知識が笑顔を生む

2018年９月に入社したばかりの山口綾子さんだが、すでに機材の搬入準備から搬入・搬出作業、返却後の手入れまで幅広く担当している。

「前職も同じような仕事でしたから。でも、お客様のニーズに応えるには、もっともっと知識を身に付けないといけないと感じています」（山口さん）

たとえば、撮影した動画をすぐ使用するニュース番組の場合、映像はきれいだが大容量でデータ転送に時間がかかる機材よりも、ほどほどの画質を短時間で転送できる方が良いなど、お客様の用途によって最適な機材は変わってくる。そこを理解して数十種類ある機材から選び出すには、相応の知識が不可欠なのだ。

「機材も新しくなっていくので、覚えることは多いですね。モチベーションですか？お客様が困って質問してきた時にスパッと答えられると、すごく気持ち良いんです。何よりお客様も喜んでくれます」（山口さん）

多くの知識を身に付けるのは大変だが、「映像や音響に興味があれば、それほど苦にはならない」と井上氏は言う。

「だから、好奇心があれば充分。あとは明るく元気な人ですね」（井上氏）

Corporate DATA

【創業・設立】
創業・2011年
設立・2018年７月

【資本金】
1,000万円

【所在地】
◎本社
東京都港区
新橋6-10-2
第二新洋ビル１F

【事業内容】
映像・音響・放送機材のレンタル・リースなど

【従業員数】
3名
（2018年10月末時点）
※人数が少ないこともあり、社内のコミュニケーションを密にとっています。ベテランの社員もいるので、未経験でも基礎からしっかり学ぶことができます。

★経営陣に聞く★



代表
井上 雄太氏

全員が情報共有するから、お客様に寄り添える

この仕事は社員同士の連携が非常に大切です。たとえば、お客様の担当番組が変わったとか人事異動で担当者が変わったといった情報を全員がすぐに共有できるよう、「ホウレンソウ（報連相）」を徹底しています。注文を受ける時は誰が電話に出ても事情を理解して対応する方が、お客様にも安心していただけます。寄り添うというのは、そういうことだと思うのです。今後、社員が増えて分業が進んでも、チームワークを醸成できる仕組みづくりは力を入れていきます。

てるお・てるこの
お父さん、教えて！

チームワークを大切にする会社は、どう見つける？

今号のテーマである「チームワーク」は、形のあるものではないからなかなか見えにくいよね。でも、その会社のチームワークの良さが判断できるポイントは色々なところに隠れているんだ。以下を参考に調べてみて！



POINT❶

求人票の「福利厚生」欄をチェック！

企業の情報が分かりやすくまとまっているのが、求人票。チームワークについて調べるなら、「福利厚生」の欄に注目！社員同士が交流するイベントが多い会社は、チームワークを重視するからこそ、そうした機会を多く用意している場合が多いんだよ。「経営理念」の欄には、その会社の代表がどんな会社を作りたいと考えているのか、「思い」や「方針」が書かれているので、ここも参考になるね。忘れてはいけないのが「研修・教育制度」の欄。集団で行う研修がある場合は、チームワークを大切にしている場合が多いんだ。ちなみにヤングコーナーでは、「企業情報シート」が閲覧できるよ。もっと細かい情報が知りたければ、「業界職種・企業ラボ」の利用もおすすめだよ！

研修期間が長い会社も、チームワークを育むことに力を入れている場合が多いわね



どんな人が働いているかにも注目してみて！



POINT❷

ホームページにアップされている写真から雰囲気が分かる！

情報収集する時に、その会社のホームページのチェックは欠かせないよね。ぜひ注目してほしいのが、掲載されている写真の数々なんだ。仕事風景だけでなく、社内での団らん風景や、イベントの時の集合写真なんかをたくさんアップしている会社は、普段から社員同士の仲が良かったり、「力を合わせて頑張ろう」という雰囲気が当たり前のようにある場合が多いよ。また、社員のメッセージが載っていたら、その表情やコメントにも注目してみてね。ホームページはその会社の顔みたいなものだから、ヒントがいっぱいなんだ。

ホームページを見て気になったことは面接の時に質問してみるといいわよ～



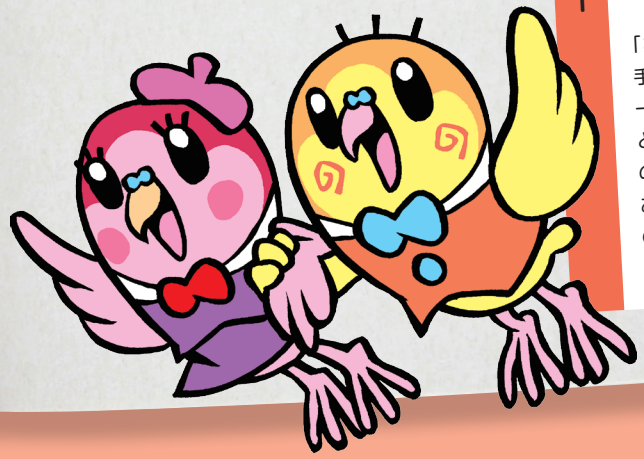
POINT❸

面接の時にこのキーワードに注目！

面接の時に社内のチームワークについて質問するなら、「仕事の中でどのような時にチームワークが求められますか？」というふうに仕事と絡めて確認するのがオススメ！仕事の理解にもつながるよ。あとは、チームワークにつながるキーワードというのがあるんだ。今号に掲載した企業のインタビューの中でもよく出てきていたけれど、例えば「相互理解」「信頼関係」「連携・連帯感」「多様性」「お互いカバーし合う」と言った言葉が面接で出てきたら、チームワークを大切にしている証拠といえるかもね。緊張していて難しいかもしれないけど、そこからさらに色々と質問してみると理解が深まるよ！

仕事での困難をどう乗り越えるかもチームワークを探るヒントになるね♪





『てるお』&『てるこ』のQ&Aコーナー

てるおとてるこのことを、もっと知りたいあなたはぜひチェック！

【Q1】寒くなってきたけど、体調管理の良い方法ってないの？

「私たちインコは湿気が苦手だけど、冬の乾燥は困りもの。だから加湿器は欠かせないわね。喉の調子もこれでバッチリよ♪ あとは、寒いからといって縮こまらずに、よく食べて体をしっかり動かすこと！　てるおは…ちょっと食べ過ぎだけど（笑）」（てるこ）

【Q2】てるてる家のチームワークは良いの？

「お父さんも僕たちも、結構好き勝手に動いちゃうところがあって、一見バラバラに見えるかも。だけど、それをしっかり支えてくれるのがお母さん。それぞれに役割があり、みんなで力を合わせているので、我が家のチームワークはバッチリかな！」（てるお）